

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【公開番号】特開2014-30552(P2014-30552A)

【公開日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2012-172284(P2012-172284)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体から特定された価値に基づいた遊技媒体を使用可能にする指令を受けて前記遊技媒体を遊技に使用可能にする遊技機であって、

遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能であるとともに、前記特定遊技状態とは異なる有利状態に制御可能な遊技制御手段と、

前記有利状態に制御されているときと前記有利状態に制御されていないときとで共通する共通演出を実行可能な演出制御手段と、

前記記録媒体の返却に関する報知を実行する報知手段と、

前記演出制御手段が前記共通演出を実行するときに、前記報知を規制する報知規制手段とを備える、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 記録媒体(たとえば、会員カード、ビジターカード)から特定された価値(たとえば、度数)に基づいた遊技媒体(たとえば、遊技球、メダル)を使用可能にする指令を受けて前記遊技媒体を遊技に使用可能にする遊技機(たとえば、パチンコ遊技機 1、スロットマシン、カードユニット 50 が外付けであってもよいし、内蔵されていてもよい)であって、

遊技者にとって有利な特定遊技状態(たとえば、大当り遊技状態)に制御可能(たとえば、図 10 のステップ S 305 ~ ステップ S 307)であるとともに、前記特定遊技状態とは異なる有利状態(たとえば、高確率状態、高ベース状態、小当りの発生頻度が向上した状態、RT 状態、ART 状態)に制御可能(たとえば、図 15 のステップ S 167, ステップ S 170A, ステップ S 170B, ステップ S 172B)な遊技制御手段(たとえば、遊技制御用マイクロコンピュータ 560)と、

前記有利状態に制御されているときと前記有利状態に制御されていないときとで共通す

る共通演出（たとえば、潜伏演出）を実行可能（たとえば、図 21 のステップ S 8 9 3）な演出制御手段（たとえば、演出制御用マイクロコンピュータ 100）と、

前記記録媒体の返却に関する報知を実行する報知手段（たとえば、演出制御用マイクロコンピュータ 100、図 20 のステップ S 8 6 8、ステップ S 8 7 8、図 22 のステップ S 7 1 6）と、

前記演出制御手段が前記共通演出を実行するときに、前記報知を規制する報知規制手段（たとえば、演出制御用マイクロコンピュータ 100、潜伏演出が実行される突然確変大当りまたは小当りの場合は、図 20 のステップ S 8 6 4 で YES と判断され、報知タイミング設定に突然確変大当り / 小当り図柄導出時が含まれていない限り、ステップ S 8 6 8 でのカードの返却を促す旨の表示が実行されない）とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このような構成によれば、共通演出が実行されるような有利状態に制御されているかも知れない状況においては、記録媒体の返却に関する報知が規制される。その結果、遊技の継続の意欲を減退させることを防止できることで遊技機の稼働率を向上させることが可能な遊技機を提供することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このような構成によれば、状況に応じた適切な、記録媒体の返却に関する報知を実現することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

このような構成によれば、遊技者が遊技を終了する傾向があるタイミングで、記録媒体の返却に関する報知が実行される。その結果、記録媒体の返却に関する報知が、適切なタイミングで実行されるので、記録媒体の返却に関する報知の効果を向上させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

このような構成によれば、遊技媒体をある程度、確保した段階で、記録媒体の返却に関する報知が実行される。その結果、記録媒体の返却に関する報知が、適切なタイミングで実行されるので、記録媒体の返却に関する報知の効果を向上させることができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

(6) 上記(1)から(5)のいずれかの遊技機において、
前記報知手段は、表示手段(たとえば、演出表示装置9)に前記記録媒体の返却に関する表示をするための前記報知を実行する。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

このような構成によれば、記録媒体の返却に関する報知をより確実に遊技者に認識させることができる。